

第 12 回（2017 年度）田んぼ環境自作人研修会実施要項

2017 年 1 月 7 日

NPO 法人「畑と田んぼ環境」再生会

（1）目的

- ① 素人が週末の作業できる自然農法の基本的なやり方を学ぶ。
- ② 稲を育てるためにどれだけの作業量があるのかを体験する。
- ③ 無農薬、無化学肥料で稲を育てる中で、どのようにすれば生き物や草とのより良い共生関係ができるのかを考える。
- ④ 参加者が共同作業を通じて相互に親睦を深め、つながりを広げていく。
- ⑤ 水路掃除、ゴミ拾い等のクリーンキャンペーンを通じて耕作区域周辺の環境を整えることを心がける。
- ⑥ 近隣・地域の人と対立をしないで信頼関係を育てていく。

（2）田んぼの状況・場所

所在地： 相模原市新戸にある農業振興地域内の田んぼ（6 畝）で自然農法 12 年目。

イネの品種： 天地人、祝福神、里じまん、喜寿（もち米）。

お米の品種が増えたり変更したりする場合があります。

種籾は自家採取の種を使用。

田んぼ所在地： JR 相模線相武台下駅下車、徒歩 10 分。

（3）作業日程

作業時間は原則午前 9 時～12 時ですが、田植え前の草刈、田植え、生き物調査、竹取、稲刈りは午後 3 時ごろまでとなります。なお、天候や苗・稲の生育状態によって作業日程・内容を変更する場合がありますので、ご了承ください。

4 月 8 日（土）	全体説明会、種蒔き
4 月 15 日（日）	美化活動（水路掃除、ゴミ拾いなど）
4 月 22 日（土）	苗床の草取り
5 月 6 日（土）	田植え前の田んぼ草刈、苗床の草取り
5 月 13 日（土）	田植え前の田んぼ草刈、苗床草取り、トロトロ層作り
5 月 20 日（土）	トロトロ層作り、苗床草取り
5 月 27 日（土）	田植えの準備
6 月 3 日（土）	田植え
6 月 4 日（日）	
6 月 10 日（土）	田植え（予備日：作業をしない場合は草取り）
6 月 11 日（日）	
6 月 17 日（土）	補植、草取り、畦草刈り
6 月 24 日（土）	草取り、畦草刈り
7 月 1 日（土）	草取り、畦草刈り
7 月 8 日（土）	草取り、畦草刈り
7 月 15 日（土）	草取り、畦草刈り

8月20日(日)	草取り、畦草刈り、新戸地域の会員の田んぼの観察
9月9日(土)	竹取
9月16日(土)	尾山、塩田、長竹の田んぼ見学
9月23日(土)	稲刈り
10月14日(土)	稲刈り、脱穀
10月28日(土)	脱穀
11月12日(日)	収穫祭
11月25日(土)	苗床作り

(4) 定員

12名、定員になり次第締め切ります。

(5) 参加費

入会金 3,000 円と研修費は 20,000 円の計 23,000 円を一括納入していただきます。家族で 2 人以上参加の場合は、2 人目から 13,000 円になります。時期にもよりますが、年度途中からの参加も可能です。なお、収穫後のお米は 5 キロもらえます。

(6) 田んぼ環境自作人の認定

12 回以上参加すると、「田んぼ環境自作人」と認定されます。その場合、法人管理地の割り振りを受け、自分で耕作することができます。ただ、管理地が不足している場合は、割り当てを受けられないこともあります。

7 回以上参加された方は、翌年残りの回数をこなすことでその資格を得ることができ、その場合の研修費は 10,000 円です。7 回未満の方は、翌年改めて参加していただく必要があります。研修費は 20,000 円です。なお、環境自作人になった場合でも研修の継続を希望する方は、年会費 10,000 円で研修に参加することができます。

(7) 必読書

「週末の手植え稲づくり—5 畝の田んぼで自給生活を楽しむ」(横田不二子著、農山漁村文化協会)

(8) 参加者心得

田んぼ地帯にはその地域の農家で決められた決まりがあります。それを正しく守って、近隣の農家に迷惑を掛けないで気持ちよく作業をしましょう。

A. 周りの田んぼのこと

1. 他の田んぼには絶対に入らないでください。落ちて田んぼに入りやすいので、他の田んぼのコンクリートの畦は歩かないでください。
2. 他所の田んぼに石や物を投げたり、草を投げ入れたりしないでください。

B. 自分達の田んぼでのマナー

1. 安全管理は各自の責任と判断で行ってください。
2. けがをすることがあるので、田んぼには素足で入らないでください。
3. 田んぼの中では走ったり、遊んだりしないでください。
4. 歩くときは植えた苗を踏んだり、引っ掛けたりしないように、注意して歩いてください。

C.トイレ

田んぼ近くのトイレ、駅か大塚センターのトイレを利用してください。

D.作業時間

最初にその日の作業について説明しますので9時までに集合してください。作業は雨天でも行ないます。濡れてもいい格好できてください。天候がひどい場合は延期になります。脱穀のときのみ雨天中止です。

E.持ち物

帽子、手ぬぐい、軍手、水筒（たっぷり水の入るもの）、長靴、お弁当、シート。長袖シャツ、長ズボンのほうがいいでしょう。必要に応じて、着替え、日焼け止めクリーム。

F.駐車場

研修田の前に駐車します。

G.お米の分配

手渡しが原則となります。

その他、わからないことがあったら、遠慮なくご質問ください。

以上です。